令和7年7月 教育委員会定例会 会議録

- 1 開催年月日 令和7年7月18日（金）
- 2 開催場所 神奈川県庁東庁舎9階教育委員会会議室
- 3 開会時刻 9時30分
- 4 閉会時刻 10時40分

- 5 出席した教育長及び委員
 - 花田 忠雄 教育長
 - 下城 一 委員（第一教育長職務代理者）
 - 吉田 勝明 委員（第二教育長職務代理者）
 - 笠原 陽子 委員
 - 佐藤 麻子 委員
 - 常陸 佐矢佳 委員

- 6 出席職員

教育局長	篠田 寛
県立高校改革担当局長	田熊 徹
副局長	田村 暢
教育参事監（働き方改革担当）	濱田 啓太郎
教育参事監（学校教育担当）	増田 年克
総務室長	宮田 一男
行政部長	高安 賢昌
指導部長	市川 幸春
生涯学習部長	信太 雄一郎
企画調整担当課長	鈴木 鎮夫
管理担当課長	高橋 慶吏
行政課長	飯田 馨
教職員企画課長	常山 敦司
参事兼高校教育課長	渡貫 由季子
生涯学習課長	秋山 直樹

- 7 提出議題 次葉のとおり

教育委員会 7月定例会 会議日程

日時 令和7年7月18日（金）9時30分から

場所 神奈川県庁東庁舎9階 教育委員会会議室
（オンライン会議システムを併用）

1 議事

日程第1

定教第11号議案 人事案件について

定教第12号議案 人事案件について

定教第13号議案 人事案件について

日程第2

報第10号 令和7年度神奈川県教育委員会表彰（優良PTA神奈川県教育委員会表彰）について

日程第3

請願第1号 「高校歴史教科書の採択等について（請願）」について

請願第2号 「休憩時間の適切な記録を求める請願」について

教育委員会 7月定例会 会議録

教育長 ただいまから教育委員会 7月定例会を開会いたします。
本会議は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項に定める定足数に達しており、有効に成立しております。
本日の会議録署名委員ですが、佐藤委員を指名させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

佐藤委員 (了解)

教育長 本日の議題ですが、日程第1として「人事案件について」ほか2件の付議案件があります。
また、日程第2として「令和7年度神奈川県教育委員会表彰（優良PTA神奈川県教育委員会表彰）について」の報告案件があります。
さらに、日程第3として「高校歴史教科書の採択等について（請願）」についてほか1件の請願があります。
お諮りいたします。本日の日程のうち、日程第1の定教第11号議案から定教第13号議案の各案件は、人事に関する案件であります。よって、地教行法第14条第7項ただし書及び会議規則第35条第1項に基づき、会議を非公開にしたいと思いますが、ご異議はございませんか。

全委員 異議なし。

教育長 ご異議がないものと認め、そのように決しました。
それでは、非公開案件は後で審議することとし、先に公開の案件に入りたいと思います。
進行の関係から日程第3の請願第1号に入ります。

請願第1号 「高校歴史教科書の採択等について（請願）」について
陳述者 木上 和高
説明者 渡貫高校教育課長

教育長 請願第1号「高校歴史教科書の採択等について（請願）」については、ファイル05に格納しておりますけれども、本件について請願者から事情の陳述の希望があります。陳述時間については、会議規則第39条第1項において教育長の許可する時間内において、請願に関して事情を述べることができると定められております。については、陳述時間を5分以内で認めるとともに、説明資料の配付の希望がある場合には、

これを認めたいと思いますが、ご異議はございませんか。

全委員 異議なし。

教育長 ご異議がないものと認め、そのように決しました。
それでは、陳述者の方を席にご案内してください。資料については今、委員に配付しました。よろしいですか。
それでは、事情の陳述の前に確認をさせていただきます。陳述を希望されている木上和高さんでよろしいですか。

陳述者 はい。

教育長 それではこれから、事情の陳述をお聞きしますので、5分以内でお願いします。今こちらの方に5分のタイマーをセットしました。残り時間を確認しながらお願いします。5分を過ぎますと、タイマーが鳴ると思いますし、私の方からも声を掛けさせていただきます、終わっていただくという形になりますので、よろしくをお願いします。
それでは、ただいまから陳述をよろしくお願いします。

陳述者 教育を良くする神奈川県民の会の運営委員長を務めております、木上と申します。今日はこういう機会をいただきまして、ありがとうございます。それでは早速、今日は3枚の資料を追加でお配りをさせていただきました。それで今日は、こういう陳述の場を設けていただきたいと申し上げましたのは、今回お出します請願が、パッと思い付きで出したわけではなくて、それなりに私どもも検討し、ステップを踏んできたということをご理解いただきたいというふうに思いました。そこに今までの経過が書いてありますので、詳細は後ほどご覧いただきたいと思いますけれども、概略を申し上げますと、一番最初は、外務省のホームページに南京事件のことが書いてありまして、これに関する資料の情報公開を行った方がいましたけれども、政府としてはそのような資料は持ち合わせていないという回答でありました。これはおかしいのではないかということで、その後、国会でもこれについては質問がされ、それから外務省に対しては、この外務省のホームページの南京事件に関する記事を、削除するようにというような申し入れも行われました。

そこで私どもは、教育という立場から、それでは学校で使われる教科書に南京事件のことがどのように書いてあるのかということ、小学校、中学校、高等学校の全ての教科書を調査いたしまして、その上で、私どもも素人ですので、これについての勉強をし、また専門家のアドバイス並びに資料提供をいただきまして、私どもの考えをまとめました。その上で、出版社9社に対して、提言と公開質問状をお出ししております。提言の内容は、私どもは南京事件についての反論というのも数多くあるので、そういうことを踏まえれば、果たして史実のみを基づいて書くべき教科書に、これを記述する価値があるのかということで、これを削除すべきではないか、あるいは記述するのであれば、その反論も含めて記述すべきだということですが、これに対しては、ほかの出版社からも回答はありませんでした。従って今度は、公開質問状という

形で、教科書に記述してある内容の根拠となる一次資料の裏付けについて、お示しいただきたいという意味の公開質問状を出しました。今日問題にしております、実教出版にお出しした公開質問状の一部は、その資料の中に公開しておりますけれども、いずれの出版社からも回答がありませんでした。

私どもとしては、出版社はそういうような資料をお持ちでないのだろうというふう
に思い至りまして、今回の請願を出させていただくことになりました。請願は6月2
日付でお出ししておりますけれども、採択の日程を考えれば、学校での選定等が始ま
る前に、教育委員会としてのご判断をいただきたいわけですが、今年、検定合
格になった高校の教科書を見るというのは、展示会以降でないとできないというこ
とで、6月2日にお出ししたのが最短であると思っております。

それから、今回私どものこの請願に賛同していただける方が結構いらっしゃいまし
て、補足資料の一番最後のページに書いてありますけど、東京都以下九つの都県にお
いて、私どもと同趣旨の請願が、教育委員会あるいは議会へ提出をされて、今現在審
議中ということです。

もう一度戻って、請願書の1項目で、なぜ実教出版を取り上げたかということですが、これは請願書にも書きましたけれども、中島今朝吾第16師団長日記というものが掲載されておまして、これは事実関係において疑問のある日記であります。これを、何の解説もなく載せていると。昔はこれを事実と捉えて、そこに載っている人数を全部足し算して、25,000人虐殺の証拠などという動きがありました。今そんなことをおっしゃる方はいらっしゃいません。こういう資料が載ることは、生徒にいたずらに誤解を招くのではないかということです。それから2番目の項目で、学校で補足の説明をしていただきたいということで2項目を挙げておりますが、私どもが反論している内容、これも資料に書いておりますが、もっとたくさんいろいろな項目があるのですが、ここでは便衣兵の件と、南京の人口の推移の二点に限っております。なぜこうしたかと言いますのは、一部の教科書で、このことを書いて、検定合格になっている教科書がありますので、これを学校の授業の中で、補足説明としていただいても、これを批判する動きはないと思うようになりましたということです。

教育長

時間となりましたので、まとめてください。ご苦労さまでございました。

ただいま陳述いただきました事情について、各委員の皆様から確認しておきたいことがあればお伺いしますが、ございますか。よろしいですか。

それでは、陳述者の方は傍聴席の方へ。ありがとうございました。

ただいまの請願について、事務局の方から何か補足することはございますか。

事務局

特にございません。

教育長

ただいま、請願第1号の事情の陳述をお聞きしましたけれども、陳述いただいた点も確認の上、慎重に審議したいと考えておまして、これについては、継続審議とさせていただきますと思いますが、ご異議はございませんか。

全委員

異議なし。

教育長 それでは、ご異議はないものと認め、請願第1号については継続審議といたします。
す。
次に、請願第2号に移ります。

請願第2号 「休憩時間の適切な記録を求める請願」について
説明者 常山教職員企画課長

教職員企画課長 ファイル06の請願第2号、「「休憩時間の適切な記録を求める請願」について」、ご説明します。2/3ページをご覧ください。本請願は、6月13日付けで、県教育委員会宛てに提出されたものです。請願者は、「神奈川県の一部活動問題を考える会」です。

まず、「1 請願の要旨」ですが、「県立学校勤務時間管理システムを用いて行われている勤務時間の記録における「休憩時間」について、実際に確保された時間を適切に記録できるようにすること。」というものです。

「2 請願の理由」については、資料にあるとおりです。県教育委員会が導入している、県立学校勤務時間管理システムは、県立学校の教員の勤務時間を客観的に把握するため、教員1人1人に配付している校務用パソコンのログオン・ログオフ時刻から在校等時間を管理するものです。請願の理由の中に、2/3ページの最後の段落にもありますが、システム上、休憩時間については、労働基準法で定められている時間である45分を、勤務時間から一律に差し引く仕様となっております。

3/3ページをご覧ください。最後の段落になりますが、本請願においては、実際に確保された分の休憩時間を自己申告により入力できるようにし、正確な勤務時間を記録するために、県立学校勤務時間管理システムを改修することが求められています。

説明は以上です。

教育長 ただいま事務局の方から、請願内容について説明がありましたけれども、委員の皆様から何か確認しておきたいことはございますか。よろしいでしょうか。

請願第2号についても、内容の事実関係を整理した上で、慎重に審議したいと考えておりますので、継続審議としたいと思いますが、ご異議はございませんか。

全委員 異議なし。

教育長 ご異議がないものと認め、請願第2号についても、継続審議といたします。
それでは、会議規則の規定によりまして、ここからの進行については下城委員にお願いいたします。

下城委員 それでは進行の都合から、日程第2の報第10号に入ります。

令和7年度神奈川県教育委員会表彰（優良PTA神奈川県教育委員会表彰）について

説明者 秋山生涯学習課長

生涯学習課長 「報第10号」について、ご説明します。ファイル04をお開きください。「令和7年度神奈川県教育委員会表彰（優良PTA神奈川県教育委員会表彰）について」、神奈川県教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則によりまして、教育長が事務を臨時に代理し、被表彰団体を決定しましたので、同規則及び教育委員会の指示事項に基づき、ご報告するものです。

2/9ページをご覧ください。2/9ページから3/9ページにかけて、今年度の被表彰団体を掲載しておりますので、後ほどご覧ください。

また、4/9ページから6/9ページにかけて、各団体の具体的な取組を掲載しておりますが、後ほど、この中から2団体の取組についてご紹介します。

それでは、7/9ページをご覧ください。報第10号関係、「令和7年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰の概要」です。「1 趣旨」ですが、PTA本来の目的及び性格に照らし、優良な実績を上げているPTAを表彰するものです。

「2 導入年度」及び「3 表彰の対象」については、資料記載のとおりです。

「4 推薦の基準」ですが、「(1)」に記載のとおり、組織、運営及び活動に係る要件を満たす団体であることとしております。

8/9ページをご覧ください。「5 審査手続」についてですが、今年1月に各市町村教育委員会等へ推薦を依頼し、5月に38団体の推薦があったところです。6月に開催した選考委員会において、この38団体全てを被表彰候補とすることが適当であるとされ、この報告を受けて、教育長が被表彰団体を決定したものです。

「6 過去の表彰状況と今年度の推薦状況」については、次の9/9ページに記載しておりますので、後ほどご確認ください。

「7 今後の予定」ですが、9月9日（火曜日）に表彰式を開催します。

最後に、今年度の被表彰団体の取組の中で、地域と連携して活動を行っている2団体についてご紹介します。5/9ページをご覧ください。まず、小学校PTAの取組として、子どもたちと地域住民のつながりを深める活動を行った、上から二つ目、番号16「相模原市立二本松小学校PTA」をご紹介します。この団体においては、地域住民に協力していただき、登校時間に自宅の前に出て、子どもたちと元気にあいさつを交わす「グリーティングロード」を実施し、また、相模原市緑区のイメージキャラクターの「ミウル」の着ぐるみを着用して正門前でのあいさつ運動を実施するなどして、子どもたちのあいさつ習慣の定着、それから地域住民とのつながりを深めることに取り組んだものです。

次に、6/9ページをご覧ください。高等学校PTAの取組として、地域と学校をつなぐ活動を行った、下から四つ目、番号35「神奈川県立大磯高等学校PTA」をご紹介します。

します。この団体においては、PTAが主催する伝統行事として、「海岸清掃」を生徒、保護者、学校、地域ボランティアと協力して実施をしているところです。また、地域自治体と連携した防災活動にも力を入れており、生徒と共に訓練をしたり、広報紙等で広く情報発信をしたりしています。PTAが地域と学校をつなぐハブとしての役割を果たし、PTAだからこそ実現できる取組を推進しているところです。

以上、2団体をご紹介しましたが、4/9ページから6/9ページに、全ての被表彰団体の取組を掲載しておりますので、後ほどご覧ください。

報第10号の説明は以上です。

下城委員 それでは、ご質問がありましたらお願いします。

佐藤委員 各PTA団体が、児童生徒や地域のためにボランティアで様々な活動をしていただいていることに、大変敬意を表したいと思えますし、それを表彰する機会があるということを大変大事なことだと思っています。

一方、最近上部団体から抜けるPTAがあると報道されていますけれども、神奈川県内においてもそういう動きがあるのかということと、仮にPTAが抜けたとしても、各市町村教育委員会に推薦依頼をしているからには、そういう有意義な活動をしているPTA団体が、対象から外れることはないという理解でよろしいでしょうか。お尋ねします。

生涯学習課長 まず1点目ですが、上部団体から抜けるという、報道等でもあるところですが、本県においても、若干、市町村が抜けているということが現状としてあります。

それから2点目ですが、ご指摘のとおり、小・中学校等については、市教育委員会や県教育事務所から推薦をいただいていますので、上部団体に入っていないから漏れるという事態は起きていないです。

下城委員 他はいかがでしょうか。

常陸委員 皆さん、共働きの世代が昨今増える中で、いろいろなITのツールを活用されたり、会議を対面から書面に変更されたりと、いろいろ効率化も図りながら活動に取り組まれていることが非常によく伝わってきました。

1点お聞きしたいのですが、表彰式の数々というの、皆さんに感謝の気持ちを伝える上で、大事な機会だと思えるのですが、これが平日の恐らく昼間に開催されるということで、この辺りは何か今までの参加者の方から、ご意見はありましたでしょうか。

生涯学習課長 表彰式を平日に行うことについて、特に我々の方で、「参加できない」や「困る」という話は聞いていないです。昨年も多くの方に来ていただいたのかなと思っています。

常陸委員 また今後、参加したいのだけれども、なかなか仕事を休まなければ参加できないと

いった方も出てこられるかなと思いますので、もしそういった声が届くことがありましたら、そのときにはご対応をよろしくお願いいたします。

笠原委員 少子化の中で、公立幼稚園の統廃合で、こども園化するという状況も加速度的に進んでいる状況かと思います。そういう中で、こういった方々の活動がいろいろな場面で紹介されていくことはとても大事だし、子ども達の成長というのはつながっているので、保護者の方々もつながり合うということもとても大事なので、ぜひ引き続きの周知と、この取組の共有を図っていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

下城委員 私からも一言。PTAを中心として、保護者の方が学校のサポーターとして、しっかり機能しているのは、教員の働き方改革という意味でも、いろいろなトラブルを未然に防ぐ、それから、起きたときに、皆が親身にサポーターとして関わっていただけるという意味でも、非常に大事なことです。普通高校も含めて、地域との連携が増々大事と言われているところですから、今、ご質問にもあったように、IT、諸々の新しい取組を入れながら、なるべくPTAを大事に大事にしていきたい。できれば、抜けた団体も、そうは言っても学校単位ではしっかりやったださっているという状況を、今後もキープできるように頑張っていたきたいと思います。よろしくお願いいたします。

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、ご質問がないようでしたら、報告は以上とします。

次に、日程第1の定教第11号議案及び定教第12号議案に移ります。

ただいまから非公開の会議に入ります。

会議規則第35条第2項の規定により、出席する職員として教育局长、県立高校改革担当局长、副局长、教育参事監（働き方改革担当）、教育参事監（学校教育担当）、総務室長、行政部長、企画調整担当課長、管理担当課長、行政課長を指定します。

（9時50分非公開の会議に入り、10時40分公開の会議に戻る）

教育長 以上をもちまして、本日の日程は終了いたしましたので、これにて閉会といたします。

<非公開会議審議等結果>

日程第1

定教第11号議案

- ・ 行政課長から説明の後、質疑を行った。
- ・ 全委員異議なく、原案のとおり決定された。

定教第12号議案

- ・ 行政課長から説明の後、質疑を行った。
- ・ 全委員異議なく、原案のとおり決定された。

定教第13号議案

- ・ 行政課長から説明の後、質疑を行った。
- ・ 全委員異議なく、原案のとおり決定された。